

<< 朝日町総合計画・総合戦略検証委員会における委員意見及び回答・対応等 >>

区分	施策分野	主要施策	担当部署	成果指標等						第2回委員会（H29.05.29）における意見等			
				項目	単位	H26 (基準)	H32 (中間)	H37 (最終)	H29.04.01現在、H28実績		委員意見	回答・対応等	
									成果数値	達成状況等			
1	子育て・教育	113 妊娠・出産・子育て連携システムの構築	住民・子ども課 健康課	【総合戦略】 この地域で子育てしたいと思う親の割合	%	(H27) 92.3	93.0	95.0	89.2	H27を基準値とする。 H27比較：▲3.1	▲	●誰を対象としてアンケートを実施しているのか。	●アンケートは、4箇月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診を受診された方に実施した。
1	子育て・教育	114 子育て世帯への経済的支援の推進	住民・子ども課 健康課 教育委員会	【総合戦略】 子育てにかかる経済的負担が大きいと感じる保護者の割合	%	60.4	60.0未満	50.0未満	—	※平成29年度にアンケート実施予定	※	●中学生のむし歯罹患率が、9月で26%、2月で44%と悪化してきている。歯科医、保護者、保健センター等と連携し、むし歯治療がしやすい環境を整えて欲しい。	●歯科検診は、学校医を通じて毎年実施している。歯科検診は当然ながら、保健センターにおける幼少期からの歯科指導など、各機関が連携して罹患率の減少に繋げていきたい。
1	子育て・教育	116 非婚化・晩婚化対策の推進	企画調整課 健康課	【総合戦略】 婚活事業の参加を通じて結婚したカップル数 [累計]	組	—	30	45	0	基準値とする。	※	●平成29年度における婚活イベントは、どのようなことを考えているのか。 ●南砺市には、3年間で90数件のカップルをマッチングさせた方がいる。このような方に、成功事例を聴けばどうか。	●7月に、町主催の婚活イベントを開催する予定である。 ●婚活セミナーについても、現在、講師選考中であるが、小規模な形で開催していきたい。
1	子育て・教育	123 心の教育の推進 (生活指導、いじめ・不登校対策)	教育委員会	不登校児童・生徒数 [年間]	人	5	0	0	6	H26比較：+1人 (+20.0%)	▲	●不登校防止対策は、幼少期から小・中・高まで一貫して取り組む体制整備が必要である。	●小・中・高だけでなく、保育所の状況を聴取するなど、幼少期から心身ともに目配りした対応が必要であると考えており、要望を真摯に受け止めたい。
1	子育て・教育	124 保小中高連携の推進	教育委員会 総務政策課	小中高連携事業の実施数 [年間]	回	5	7	8	4	H26比較：▲1回 (▲20.0%)	▲	●泊高校については、町と連携し、存続に向けた取り組みや働き掛けを強化していかなければならない。	●泊高校の存続に関しては、平成27年度に「泊高校の将来を考える町民会議」による署名活動等が展開されてきたところであり、平成28年6月からは「泊高校未来創生会議」として組織を改編して活動している。 ●町としても、町長が先頭に立ち、平成28年度は「泊高校の存続」1本に絞って県知事要望を行った。また、年2回の市町村長会議においても、県知事と意見交換・要望するとともに、富山県総合教育会議においても、知事及び県教育委員に直接説明・要望してきている。 ●県は「1学年4学級以上が望ましい。」という方針を掲げているが、町としては「3学級であっても、切磋琢磨できる。地方創生の観点からも泊高校を存続させるべきである。」と申し上げている。
2	健康・福祉	224 障害者福祉の推進	健康課	サービスの利用を希望してもサービスを受けられない障害者数 [年間]	人	0	0	0	0	現状維持 (最終目標達成)	◎	●障害児のサービス回数は決まっているが、サービス提供事業所が限られているためにサービスを受けられない事態も見受けられる。この状況を踏まえ、実態を調査し、できるだけ保護者の要望に沿ったサービス提供に努められたい。	
				委託相談支援事業所の数 [累計]	箇所	2	2	3	2	現状維持	—		

<< 朝日町総合計画・総合戦略検証委員会における委員意見及び回答・対応等 >>

区分	施策分野	主要施策	担当部署	成果指標等					第2回委員会 (H29.05.29) における意見等				
				項目	単位	H26 (基準)	H32 (中間)	H37 (最終)	H29.04.01現在、H28実績		委員意見	回答・対応等	
									成果数値	達成状況等			
3 産業振興	31 農林水産業	311 経営基盤の強化、 担い手の確保・育成	農林水産課	【総合戦略】 法人化された農業経営 体数 [累計]	法人	11	13	15	16	H26比較：+5法人 (+45.5%) (最終目標達成)	◎	●法人化された農業経営体数が増加しているが、町からの支援により増加したのか。 ●農業経営に関しては、効率化を図る観点から、農地を担い手農家への集約化が大勢を占めており、これは国及び県の方針でもある。一方、個人農家に関し、耕作放棄地を出さない対策として、農地中間管理機構を介することは有効な手段である。また、先祖代々の農地を守る方、趣味で農業をされている方も大切な農家である。しかしながら、そのような方々の後継者確保が難しいのも現実である。このことから、周辺地域との連携や集落営農等を見据えることも必要になるのではないかと考える。	
				【総合戦略】 認定新規就農者認定数 [累計]	人	2	10	20	6	H26比較：+4人 (+200.0%)	△		
				認定農業者数 [累計]	経営体	48	65	75	44	H26比較：▲4経営体 (▲8.3%)	▲		
4 観光・交流	41 観光	411 観光素材の魅力向上	商工観光課 農林水産課	【総合戦略】 宿泊者数 [年間]	人	65,000	77,000	85,000	62,180	H26比較：▲2,820人 (▲4.3%)	▲	●観光客入込数については、ヒスイ海岸でのイベント開催により伸びた。また、舟川桜並木への入込客数をカウントしていなかったため、今回より追加してことが増加の要因となった。 ●宿泊者の減少については、道路災害により朝日岳及び白馬岳への登山客の山小屋宿泊を受け入れられなかったこと等が原因と考えられる。	
				【総合戦略】 観光客入込数 [年間]	万人	25.0	45.0	50.0	27.4	H26比較：+2.4万人 (+9.6%)	△		
4 観光・交流	41 観光	413 情報発信・プロ モーションの強化	商工観光課	ARの閲覧回数 [年 間]	回	—	5,000	10,000	—	AR機能の活用は、平成29年度からスタート	※	●AR機能活用は今年度から実施されるとのことだが、その内容等について教えて欲しい。 ●各種ポスターを作成しているが、ポスターにAR機能を持たせることとした。例えば、当該ポスターがヒスイ海岸のものであれば、AR機能を読み込むと、スマートフォン等でヒスイ海岸の動画を閲覧することができる。	
4 観光・交流	41 観光	414 着地型観光の推進	商工観光課 農林水産課	【総合戦略】 着地型旅行商品造成数 [年間]	回	12	30	30	14	H26比較：+2回 (+16.2%)	△	●朝日町にも素晴らしい山があるので、山の宣伝を行えばどうか。 ●山の日の制定を記念して「低山マップ」を作成した。また、大鷲山や南保富士へのトレッキングも実施されている。登山に関しては、7月に朝日岳の山開き登山会を実施する。	
4 観光・交流	41 観光	415 観光拠点の整備 (町の特性を打ち 出した観光の提 供)	商工観光課	【総合戦略】 舟川観光入込客数 [年 間]	万人	2.8	10.0	11.0	3.7	H26比較：+0.9万人 (+32.1%)	△	●舟川観光に関して、無料駐車場とする考えはあるか。 ●舟川桜並木については、地元の協力を得て、平成28年度から駐車場を確保してもらっている。その中で、協力金として駐車料金をいただいている。この協力金の一部は桜の保護や駐車場の管理運営に充当しておられる。	
4 観光・交流	41 観光	416 広域連携観光事業 の推進	商工観光課	【総合戦略】 広域観光企画開発数 [累計]	件	—	4	8	6	基準値とする。 (中間目標達成)	○	●様々な外国人が朝日町を訪れており、このような外国人への対応を充実させることができないか。 ●外国人が町の観光名所やサイクリングに多く訪れてきている。白馬村や大町市にはサイクリングを目的とした外国人が多く、北アルプス日本海広域観光連携会議の中でも、それらの外国人を朝日町にも誘客できるよう話を進めている。	

<< 朝日町総合計画・総合戦略検証委員会における委員意見及び回答・対応等 >>

区分	施策分野	主要施策	担当部署	成果指標等						第2回委員会（H29.05.29）における意見等			
				項目	単位	H26 (基準)	H32 (中間)	H37 (最終)	H29.04.01現在、H28実績		委員意見	回答・対応等	
									成果数値	達成状況等			
4 観光・交流	42 交流	421 他都市との交流の推進	総務政策課 教育委員会	ビーチボール全国大会参加者数〔年間〕	人	1,751	1,800	1,850	1,612	H26比較：▲139人 (▲7.9%)	▲	●ビーチボールを体育授業に取り入れるなど、学校教育に組み入れて欲しい。町内の子どもたちに、小さい頃からビーチボールに親しむ機会を増やして欲しい。 ●アンケートについては、平成28年度に実施したところであり、現在集計中である。傾向としては、個室での宿泊を希望される参加者が多く、魚津市や黒部市のホテルを選択される。アンケートには、宿泊費補助希望額や大会自体への要望なども設問としている。ビーチボール大会参加者の意見を踏まえながら、ビーチボール人口の拡大に繋げていきたい。	
				翡翠ビーチボール全国大会参加者数〔年間〕	人	556	580	650	564	H26比較：+8人 (+1.4%)	△		
6 安全・安心	61 防災	612 防災教育・訓練の充実、防災情報の発信体制強化	総務政策課	家庭での非常用備蓄率	%	—	30.0	50.0	—	—	※	●防災対策については、山間部では土砂災害、沿岸部では津波など、地区によって予想される被害が異なり、各地区の実態に応じた対策を講じることが大切である。 ●町が有する海から山までの地形上、各地区にける災害への意識は異なる。そのような中で、各地区の実態に合ったきめ細かな対策が、今後、益々重要度を増すと考えている。 ●町主催の総合防災訓練は年1回開催しているが、当該総合防災訓練では1つの災害事象に絞った訓練にならざるを得ない。このことから、様々な意見をいただき、各地区の実情にあった防災対策に繋げていきたい。	
				防災訓練参加者数〔年間〕	人	700	800	1,000	796	H26比較：+96人 (+13.7%)	△		
6 安全・安心	63 防犯・交通安全	632 交通安全対策の充実	総務政策課	交通事故発生件数〔年間〕	件	25	20	15	19	H26比較：▲6件 (▲24.0%)	○	●高齢者が関係する交通事故が増加している。当該検証状況一覧表の「今後の展開・方針」にも「高齢者運転免許証返納制度のさらなる活用を図る。」とある。このことから、町単独ではなく、入善警察署等とも連携しながら、高齢者の交通事故防止対策に取り組まされたい。 ●県と連携するなど、今後さらに充実するように検討を重ねていきたい。	
				高齢者交通安全教室参加者数〔年間〕	人	495	500	500	360	H26比較：▲135人 (▲27.3%)	▲		
6 安全・安心	64 有害鳥獣	642 防除施設の整備・管理	農林水産課	電気柵の設置延長〔累計〕	m	30,000	33,000	33,000	30,000	現状維持	—	●有害鳥獣対策として、電気柵を耐雪型に切り替えていく必要がある。電気柵設置地区の住民は高齢化してきている。このことから、耐雪型電気柵の設置により、労力を軽減する対策が急務であるとする。 ●全ての簡易電気柵を耐雪型電気柵に切り替えていく方針である。 ●事業をさらに推進するため、県事業等の補助金の採択に向けて、事業計画を策定しているところである。	
				機能向上型電気柵の設置延長〔累計〕	m	(H27) 330	5,000	10,000	1,100	H27を基準値とする。 H27比較：+770m (+233.3%)	△		
7 生活基盤	75 情報共有、町民参加	751 広報・広聴の充実、情報化の推進	企画調整課	町ホームページアクセス数〔年間〕	件	49,331	60,000	70,000	87,499	H26比較：+38,168件 (+77.4%) (最終目標達成)	◎	●広報あさひは、紙面内容の確認・校正を万全にし、間違いのないものの発行が前提である。このことから、最終校正が月末近くとなり、基本的に毎月1日の発行としている。 ●タイトな校正作業の中で数日の余裕をもって配布できるかは、今後研究していきたい。 ●町ホームページや町公式フェイスブックを活用して情報発信しているが、広報あさひでの情報発信については、どのように考えているのか。 ●町ホームページに関し、外部業者等による利用検証を実施したことはあるか。 ●情報発信には、情報の新鮮度や適時な発信を心掛けている。そのため、フェイスブックで新しい情報をすぐに提供しており、CATVを活用した告知、町ホームページで総合的な情報発信に努めるなど、情報発信ツールを使い分けている。情報取得手段は、世代によって異なる。高齢者にとっては、広報あさひ等の紙面での情報取得が主となると考える。 ●今後も、情報の正確性や新鮮度に目配りしながら、情報が伝えたい対象者に伝わるような手段を検証・検討したい。 ●そのような検証は実施していない。	